

## ■□■□ 投稿規定 (2026 年 1 月現在) □■□■

### 本誌の目的

本誌は、宮城県理学療法士の学会誌として、理学療法及び関連領域における活動を記録し、実践報告・研究発表の場を提供することを主な目的とします。

### 投稿募集について

下記の論文欄で投稿を募集いたします。投稿資格は、本会の会員とします。

### 募集論文

#### 1) 「研究報告」

自分の研究結果をまとめて、ある結論を与えたもので、理学療法分野に有用かつ意義のあると思われる論文を扱います。

#### 2) 「短報」

速報、略報として書かれた研究論文を扱います。「研究報告」の小型のものとお考えください。

#### 3) 「症例報告」

特異な問題を持つ症例の臨床経験や臨床的問題についての報告と考察を行った論文を扱います。症例の経過、結果、考察を中心にまとめてください。症例数が少数の報告も症例報告で扱います。

#### 4) 「活動報告」

理学療法士としての活動を通して得られた有用な知見の報告や活動の特徴及び、そのプロセスと結果を示すことで、他の地域や組織、集団等における実践活動の参考となり得るものを扱います。

#### 5) 「意見と声 (Letter to Editor)」

本誌に掲載された論文や、「理学療法の歩み」に対する意見を扱います。

### 投稿依頼について

学術誌部の決定により、会員、または会員外に投稿を依頼いたします。「特別寄稿」、「講座」、「特集」などで扱います。

### 原稿の取扱い

原稿の採否は、査読委員および編集委員にて原則 2 回の査読の上、学術誌部に最終的な採用、不採用を決定します。また、学術誌部の責任において、レイアウトや字句を訂正することがあります。

### 原稿の締切

原稿の締切は、9 月末日と致します。9 月末日を過ぎますと次年度の掲載となります。原稿は随時募集しておりますので、締切に関しては学術誌部にご相談ください。

### 論文等作成時の生成 AI 使用について

- 「大規模言語モデル・画像生成モデル・音声生成モデル・3D モデル生成モデル等を基盤とする生成人工知能 (AI)、およびこれに類する技術 (以下、生成 AI)」を著者として記載すること (オーサーシップ) は認めません。また、生成 AI を著者として引用することも認めません。
- 提出された原稿において、画像・図の作成および改変に生成 AI を用いることは認めません。
- 生成 AI を用いた研究の投稿は認めますが、用いた生

成 AI の名称、バージョン、提供者 (メーカー)、使用方法を明記する必要があります。また、著者は、生成 AI の使用により他者の権利や出版倫理への抵触がないこと、および情報の正確性について、責任をもって確認しなければなりません。

- 文法、スペル、参考文献の確認のための生成 AI を利用することは、明記せずに行っても差し支えありません。ただし、文章構成の立案や執筆を生成 AI に行わせることは認めません。

### 具備すべき条件

- 他誌に発表または投稿中のもの、自らあるいは第三者のホームページに掲載または掲載予定のものはご遠慮ください。
- 原稿および図・表は原則として、投稿原稿一式を MS-Word にまとめ、電子メールに添付して学術誌部へ送付してください。上記が不可能な場合は、学術誌部へお問い合わせください。
- 表題頁には、①投稿する論文欄名 (募集論文のみ。依頼論文の場合は不要です)、②表題、③筆頭著者及び共著者の氏名と所属 (和英併記)、④連絡先 (所在地、電話番号、Email アドレス等) を必ず記載してください。
- 文献は一括して文末に引用順に配列し、執筆要項を参考に記載してください。

### その他

- 本誌に掲載された論文の著作権は、宮城県理学療法士会学術局学術誌部に帰属させていただきます。
- 詳細は「執筆要項」に定めます。
- 他著作物からの図表の引用・転載については、著作権保護のため原出版社および原著者の承諾が必要な場合があります。予め承諾を得てください。
- 研究倫理としてヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記載を必ず行ってください。原則として厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に従ってください。また、可能な限り倫理審査を受け、その承認番号を記載してください。
- 「症例報告」や対象者の写真掲載においては、当該症例 (または両親、保護者など) のプライバシーの侵害とならないよう、インフォームド・コンセントに関する承諾を得る、もしくは包括同意が取られているかの確認をして下さい。
- 著者校正は原則として 1 回とします。原則、字句のみの訂正となります。
- 別刷は採用者に 20 部まで無料で贈呈します。それ以上必要な場合には実費となります。
- 掲載論文は、ウェブページに掲載されます。

### 原稿送付先および連絡先

東北化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

平山和哉

〒981-8551 仙台市青葉区国見 6-45-1

TEL 022-233-3503 (直通)

E-mail k.hirayama@rehab.tbgu.ac.jp

## ★執筆要綱 (2026 年 1 月現在) ★

論文は、①表題頁、②著者・所属頁、③要旨と Key Words、④本文・引用文献、⑤図 (写真も含む)・表及び図表説明文とします。投稿原稿は各々に分けて作成し、1 つにまとめた上で頁数をつけてください。

### 1. 執筆様式

楷書、横書き、口語体、現代かなづかい、数字は算用数字、度量衡単位は SI 単位 (長さ: m, 質量: kg, 時間: s, 温度: °C, 周波数: Hz 等) を使用してください。原稿書式は、文字数 40 字×行数 30 行とってください。また、本文には右 (または左) 余白に 5 行ごとに行番号 (何行目か) を振って下さい。

### 2. 著者・所属頁の記載方法

著者・所属頁には著者名・所属名 (英文表記含む)、責任著者連絡先 (Email アドレス含む) を付記してください。なお、著者名にはそれぞれ肩書 (例: MD, RPT, OTR など) を入れてください。

### 3. キーワード

キーワードはできるだけ和語で、3 個以内とします。各キーワード間はセミコロン [ ; ] で区切ってください。

### 4. 要旨

400 字程度とし、目的、対象、方法、結果、結語等を含み、これのみで論文全体の内容が分かるように記述してください。可能なら 200 語程度の英文抄録も添付してください。

### 5. 見出し

見出しには下記を参考に通し番号を付けてください。

章見出し: 番号なし

節見出し: 半角で 1. 2. 3. …

項見出し: 半角で 1) 2) 3) …

### 6. 欧文・数字などの記載方法

欧文・数字・記号・単位は半角で、カタカナは全角で記載してください。

### 7. 略語の記載方法

欧文・数字・記号・単位は半角で、カタカナは全角で記載してください。

### 8. 機器名の記載法

機器名は、「一般名 (会社名, 製品名)」で表記して下さい。なお、統計ソフトは「製品名, バージョン番号」として下さい。

### 9. 引用文献の記載方法

文献は引用文献のみとし、本文引用順に並べた上で、以下の例に準じて記載してください。引用箇所の右肩に ○○<sup>1)</sup>, ○○<sup>1-4)</sup>, ○○<sup>3,6)</sup> のように肩番号を付けてください。著者名は 2 名まで記し、それ以上は「他」[et al.]

としてください。雑誌名は公式の文献呼称 (欧文誌名は Index Medicus の省略法に準じる) を用いてください。

### ①雑誌論文の場合

著者氏名: 題目. 雑誌名. 発行年 (西暦): 巻 (号): 最初頁-最終頁.

[例]

1) 前田里美, 早川由佳里, 他: 膝立ち位における側方重心移動動作の運動力学的分析. 理学療法の歩み 2003; 14: 45-50.

2) Hulme JB, Bach BW, et al.: Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 1988; 68 (1): 26-31.

### ②単行本の場合

#### A. 単行本一冊を参照する場合

著者氏名: 書名 (版表示). 出版社, 出版地, 発行年.

[例]

1) Cailliet R. 荻島秀男訳: 膝の痛みと機能障害 (原著第 3 版). 医歯薬出版, 東京, 1993.

2) Murray PR, Rosenthal KS, et al.: Medical microbiology. 4th ed. Mosby, St. Louis, 2002.

#### B. 単行本の 1 章または一部を参照する場合

著者氏名: 章見出し (単行本の 1 章を参照する場合). 編者または監修者氏名. 書名 (版表示). 出版社, 出版地, 発行年, pp. 最初頁-最終頁.

[例]

1) 野島元雄: 進行性筋ジストロフィー症, 各種神経筋疾患. 上田敏編. リハビリテーション医学全書 20. 医歯薬出版, 東京, 1975, pp.24-38.

2) Philips SJ, Whisnant JP: Hypertension and stroke. In: Laragh JH, Brenner BM, eds. Hypertension: pathophysiology, diagnosis and management. 2nd ed. Raven Press, New York, 1995, pp.465-478.

### ③電子出版物の場合

#### A. 雑誌論文の場合 (ウェブサイトもこれに準ずる)

著者名: 論文名. 誌名. 版. 出版または著作権年月日; 巻または冊 (号): 最初頁-最終頁または [範囲]. 入手先 [参照年月日].

[例]

1) 平野康之, 杉本 諭, 他: 急性期脳血管障害患者の非麻痺側膝伸筋力と歩行能力の関係. 理学療法学. 2003; 30: 386-390. <http://ci.nii.ac.jp/cinii/servlet/CiNiiTop#> [参照 2005-7-4].

2) Abood S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. Am J

Nurs. 2002 Jun; 102 (6) : <http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htm> [cited 2002 Aug 12].

#### B. データベースの場合

タイトル. 版. 出版地: 出版者: 出版または著作権獲得年. 引用または参照部分のタイトル: 記事番号: 入手先 [参照年月日].

[例]

1) 障害者白書平成17年度版. 東京: 内閣府; 2005. 第2節年齢階層別の障害者数: 01\_01\_02\_01; [http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h17hakusho/zenbun/pdf/01\\_01\\_02\\_01.pdf](http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h17hakusho/zenbun/pdf/01_01_02_01.pdf) [参照 2005-09-12].

1) Pulse Generator Database. Irvigton (NY): Amadeus Multimedia Technology, Inc.; c1995-98; Biotronic Model 104B. <http://www.heartweb.org/heartweb/pulsegen.htm> [cited 2001 Jun 23].

#### C. ホームページの場合

タイトル. 出版地: 出版者: 出版または著作権年. 入手

先 [参照年月日].

[例]

1) 宮城県理学療法士会会員所属施設. 宮城. 宮城県理学療法士会; 2005. <http://plaza.umin.ac.jp/~mpta/shozokushisetsu.html> [参照 2005-11-29].

2) The AAMC's Academic Medicine Web Site [Internet]. Washington: Association of American Medical Colleges; c1995-97. <http://www.aamc.org/> [cited 1997 Nov 4].

#### 10. 図・表

図・表は1個につき原稿用紙1枚に換算します。

必要がない限り, 表には縦罫線を使用しないでください。

縮小・拡大しても鮮明であるよう配慮して出力し, 写真はトリミングを行ってから添付してください。

図には下方に, 表には上方に番号とキャプションを付記してください。また, 引用や転載の場合は, 出典を明記してください。